

# 環境活動レポート

平成 29 年 度 版

(取組期間:平成29年7月～平成30年6月)

作成:平成30年8月30日



水と空気を管理する—

**山陽技研** 株式会社

山 陽 技 研 株 式 会 社

## 目 次

	Page
1. 事業概要 .....	1
2. 環境方針 .....	2
3. 環境目標とその実績 .....	3
4. 環境活動計画内容 .....	5
5. 取組結果の評価 .....	6
6. 環境関連法規等遵守状況 .....	7
7. 代表者による全体評価と見直の結果 .....	8

## 1. 事業概要

(1) 事業者及び代表者名

山陽技研株式会社

代表取締役 井上 沙緒

(2) 所在地

◇本社◇

〒700-0941 岡山県岡山市北区青江4丁目8番1号

TEL: 086-231-0248(代)

FAX: 086-222-7824

URL: <http://www.sanyo-giken.co.jp>

◇倉敷営業所◇

〒712-8032 倉敷市北畝2丁目17番27号

TEL: 086-454-0902

FAX: 086-454-0903

(3) 環境管理責任者及び担当者

責任者 常務取締役 近田 幸典

担当者 総務部 主任 中村 郁恵

E-mail: [soumu3@sanyo-giken.co.jp](mailto:soumu3@sanyo-giken.co.jp)

(4) 事業内容(対象範囲)

建設工事における給排水衛生、空気調和、防災、その他設備工事、設計施工

(5) 事業の規模

設立 昭和 48年6月18日

資本金 4,800 万円

売上高 30 億円 (平成 30年 6月期)

各事業所の規模

	本社	倉敷営業所	駐車場	倉庫
従業員	50名	1名	無人	無人

### 認証・登録の対象範囲

登録組織名: 山陽技研株式会社

対象事業所: 本社、倉敷営業所

対象範囲: 建設工事における給排水衛生、空気調和、防災、  
その他設備工事、設計施工

## 2. 環 境 方 針

当社は、環境保全の必要性和経営における重要性を認識し、社員一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。

環境汚染、地球環境温暖化の深刻さに興味を持ち、一人ひとりが高い意識をもって継続的に環境保全に努めます。

特に、当社では「**水と空気を管理する**」をキャッチフレーズとしておりますので、節水やガソリン使用量の抑制に積極的に取り組んでまいりたいと思います。

### ○活動方針

- (1) 本来業務の改善となるよう無駄をなくします。
- (2) 地球温暖化防止のため、省エネルギー・省資源を徹底します。
- (3) 水環境の保全に努めます。
- (4) 廃棄物の削減、リサイクルに努めます。
- (5) 環境関連法規を遵守いたします。
- (6) グリーン購入を推進します。
- (7) 環境に配慮した省エネ製品の販売を推奨します。
- (8) 当社の全ての従業員にこれらの方針の周知を図り、環境保全に対する意識の向上を促します。

平成 22 年 7 月 17 日 制定

平成 28 年 8 月 19 日 改定

山陽技研株式会社

代表取締役 井上 沙緒

### 3. 環境目標とその実績

表1に当事業所における環境目標と実績(総括)を示す。

#### ○主な環境負荷の実績及び目標

【表1 環境目標と実績(総括)】

項目	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成29年度	達成率 ※1	平成32年度
		目標 (基準年度)	目標 (基準年度比 1%削減)	目標 (基準年度比 2%削減)	実績 (備考)		目標、5% 削減、対 27年度比
①二酸化炭素総排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	185,762	183,904	182,047	218,105	0.83	176,474
<b>二酸化炭素総排出量(単位売上当たり)</b>	<b>kg-CO<sub>2</sub>/単位売上</b>	<b>619</b>	<b>613</b>	<b>607</b>	<b>704</b>	<b>0.86</b>	<b>588</b>
電力 ※2二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	43,877	43,438	42,999	49,725	0.86	41,683
	kWh	61,025	60,415	59,805	71,342	—	57,974
<b>単位売上当たり</b>	<b>kg-CO<sub>2</sub>/単位売上</b>	<b>146</b>	<b>145</b>	<b>143</b>	<b>160</b>	<b>0.89</b>	<b>139</b>
化石燃料							
ガソリン 二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	130,644	129,338	128,031	156,461	0.82	124,112
	ℓ	56,312	55,749	55,186	67,440	—	53,496
<b>単位売上当たり</b>	<b>kg-CO<sub>2</sub>/単位売上</b>	<b>435</b>	<b>431</b>	<b>427</b>	<b>505</b>	<b>0.85</b>	<b>414</b>
軽油 二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	11,241	11,129	11,016	11,918	0.92	10,679
	ℓ	4,291	4,248	4,205	4,549	—	4,076
<b>単位売上当たり</b>	<b>kg-CO<sub>2</sub>/単位売上</b>	<b>37</b>	<b>37</b>	<b>37</b>	<b>38</b>	<b>0.96</b>	<b>36</b>
化石燃料合計	Kg-CO <sub>2</sub>	141,885	140,466	139,047	168,379	0.83	134,791

<b>②廃棄物合計(単位売上当たり)</b>	<b>kg/単位売上</b>	<b>271</b>	<b>268</b>	<b>266</b>	<b>210</b>	<b>1.27</b>	<b>257</b>
産業廃棄物(総排出量)	Kg	67,716	67,039	66,362	55,400	1.20	64,330
建設リサイクルの推進	分別の徹底、再資源化を推進						
<b>単位売上当たり</b>	<b>kg/単位売上</b>	<b>226</b>	<b>223</b>	<b>221</b>	<b>179</b>	<b>1.24</b>	<b>214</b>
事務系一般廃棄物(総排出量)	Kg	13,563	13,427	13,292	9,600	1.38	12,885
<b>単位売上当たり</b>	<b>kg/単位売上</b>	<b>45</b>	<b>45</b>	<b>44</b>	<b>31</b>	<b>1.43</b>	<b>43</b>
③水	Kg	189,585	187,689	185,793	225,500	0.82	180,106
<b>単位売上当たり</b>	<b>kg/単位売上</b>	<b>632</b>	<b>626</b>	<b>619</b>	<b>727</b>	<b>0.85</b>	<b>600</b>

④化学物質	—	微量の為、現状維持に努める					
⑤グリーン購入	—	再生紙・リサイクル可能製品の優先的購入を続ける ※1					
⑥自らが施工・販売・提供する製品	—	環境に配慮した施工を実施する ※2					

※1 グリーン購入について

1. トイレペーパー、2. フラットファイル、3. 作業服の3品を重視して購入する

※2 自らが施工・販売・提供する製品について

- 省エネ製品の推奨(詳細は環境活動計画に準ずる)

◆ 平成27年度より7月～翌6月を単年度とし、各年度毎に算出することとします。

※1 「達成率」は、平成29年度目標と平成29年度実績(備考)を比較し、算出しました。

廃棄物については「最終処分量」を比較し、算出しました。

※2 電力の二酸化炭素排出係数は0.697 (t-CO<sub>2</sub>/kWh)としました。(中国電力 平成27年度実績による)

○ [目標の達成状況 …表1 「達成率」欄に対応]

・ 二酸化炭素総排出量

平成29年度目標 (182,047Kg-CO<sub>2</sub>) に対して達成率83% (218,105Kg-CO<sub>2</sub>) と未達成。

・ 産業廃棄物

平成29年度目標 (66,362Kg) に対して達成率120% (55,400Kg) と目標達成できた。

・ 事務系一般廃棄物

平成29年度目標 (13,292Kg) に対して達成率138% (9,600Kg) と目標達成できた。

・ 水

平成29年度目標 (185,793Kg) に対して達成率82% (225,500Kg) と未達成。

#### 4. 環境活動計画内容

下記に挙げる各項目の使用抑制・削減を念頭に、以下のような取組を実施いたしました。

項目	計画取組内容
電力	事務所内照明及び各電源のこまめな消灯
	冷房28℃暖房20℃の温度設定管理の徹底
	自然光の効率的な利用
ガソリン	乗り合わせ、運行コースの見直し推進
	エコドライブの徹底
廃棄物	分別の徹底、リサイクル促進及びこれらの表示設置 処理業者に再資源化を要請
水道	節水徹底の周知
	節水を呼びかける表示の設置
紙	裏紙・両面コピーの利用、プリンタ使用方法の工夫
	データの電子交換によるペーパーレス化促進
	使用済み封筒の活用、シュレッダー使用の抑制
社内の緑化	社内の緑化
省エネ製品の推奨	客先へ省エネタイプの製品を推奨、提案

## 5. 取組結果の評価と次年度の取組

前項で挙げた計画取組内容に対する評価結果は以下の通りです。

環境負荷の実績及び目標の評価については、  
 二酸化炭素排出量及び水について達成することができなかった。  
 二酸化炭素排出量の未達成については遠方の現場が増加・現場件数の増加が原因として考えられる。  
 水の達成については、従業員その他社員の増加に伴い使用量も増加したと考えられる。

定例会議や朝礼の場を活用し、代表者及び環境管理責任者を中心に繰り返し啓蒙に努めました。

項目	計画取組内容	評価結果
電力	事務所内照明及び各電源のこまめな消灯	業務を行う必要箇所に限って使用するよう留意できた。休憩時間や会議室使用時等不要な電気はこまめに消灯できていた。
	冷房28℃暖房20℃の温度設定管理の徹底	社内へも表示を設置し、常に意識を持つよう呼びかけた。
	自然光の効率的な利用	過ごしやすい気候の時期は、窓やブラインドの開閉を工夫してうまく活用できていた。自然の力を借りることで作業効率のアップを図れた。
ガソリン	アイドリングストップ	昨今の原油価格変動に伴い、ガソリンの価格も変動がかなりあった。少しでも消耗を抑えるべくエコドライブとあわせて呼びかけを継続している。
	エコドライブの徹底	「無事故・無違反チャレンジ200日」へ参加し、安全とエコの両立を図った。結果は1チーム達成。来年は更に達成できるよう前向きに取り組むべく準備をしている。
廃棄物	分別の徹底、リサイクル促進	廃棄物の排出量を抑制することももちろんだが、排出する際の分別・リサイクルを徹底することで、ただの“ゴミ”となる一般ゴミ削減につながるということを度々伝えるよう努めた。
水道	節水徹底の周知	使用量はもともと少ないが、油断せず、手洗いやトイレでの無駄な使用をしないよう呼びかけた。
	節水を呼びかける表示の設置	継続的に表示を設置している。
紙	裏面・両面コピーの利用、プリンタ使用方法の工夫	作業効率化を目的とし昨年よりコピー機の設置台数を増加した為、使用が増えた。引き続き裏紙や両面コピーの推奨をしていきたい。
	データの電子交換によるペーパーレス化促進	社内: 専用ネットワーク、スキャナの活用 社外: メール、メディアによるデータの交換 これらにより、紙ベースでの情報交換を抑えられている。また、機密情報漏洩防止にも役立てられている。
	使用済み封筒の活用	内部資料の管理、シュレッダー使用抑制に役立てている。
社内緑化	社内の緑化	事務所内外に緑を配置することでリフレッシュと季節感を味わえ、効果的であった。また、花壇等の手入れが行き届いていれば、会社の清潔さもアピールできる。
省エネ製品の推奨	客先へ省エネタイプの製品を推奨、提案	現在は省エネタイプの製品が数多く、客先にとっても有益である為、空調機・給湯器等を設計・見積もり段階で提案、推奨できている。

上記事項を次年度も継続して取り組むこととする。



## 6. 環境関連法規等順守状況

順守評価日：平成30年7月2日

法規	対象設備等	法規制要求事項	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物 (廃プラ、廃金属ほか)	①処理委託(運搬、処分)は許可を受けた者に委託し、委託契約書には廃棄物の種類、数量、運搬先所在地、処分先所在地、処分法、施設の能力などを記載(法12条5,6) ②産業廃棄物管理表(マニフェスト)の管理(法12条3) ・B2、D票が90日、E票が180日以内に返却が無い場合、又は虚偽記載の場合は30日以内に知事に報告。A票は5年間保存。 ・毎年6月30日迄に前年度の管理票交付状況を知事に報告。 ③保管場所には掲示板(60cm×60cm以上)を設置する(法12条2)廃棄物の種類/保管場所の管理者と連絡先/保管可能量	順守している
省エネ法	電力 ガソリン 軽油	すべての事業者はエネルギーの使用と合理性に努めるとともに、電気の需要の標準化に資する措置を講ずるよう努める(努力義務)(法4条)	順守している
グリーン購入法	官庁工事 事務用品	事業者及び国民は、できる限り環境物品等を選択するように努めるものとする(法5条)	順守している
フロン排出抑制法	空調機 ・7.5kw未満 10台	①利用者の設備管理 ・7.5kw未満は3ヶ月毎に簡易点検を行い、記録を保管する ・7.5kw以上は3年毎に定期点検を行い、記録を保管する。又冷媒漏洩検査を行う。 ②冷媒の回収管理 ・整備する場合、廃棄する場合は、許可を受けた回収業者に委託する(法18条の2、法19条) ・第1種特定製品の廃棄者は、回収依頼書を3年間保管する(法の19の3) ・廃棄者は回収業者は発行する取引証明書を3年間保管する(法20条の3)	順守している
建設リサイクル法		対象建設工事(修繕・模様替工事1億以上。工作物の解体・新築工事5百万円以上ほか)の施工者は下記を遵守する。 ・設計及び資材の選択、施工方法の工夫により、廃棄物の発生を抑制するとともに、分解解体等及び抑制するとともに、分解解体等及び廃棄物の再資源化に要する費用を低減する。	順守している

過去3年間にわたり、法規違反はありませんでした。

また、訴訟ならびに近隣住民からの苦情、関係機関からの指摘も過去3年にわたりありませんでした。

## 7. 代表者による全体評価と見直の結果

引き続き従業員一人一人の意識定着を望む

エコ商品の推奨など、時代のニーズに沿った提案を得意先へ行うとともに  
当社としても環境を考慮した取組を進めていきたい。

# 環境目標、環境活動計画総括

作成日	平成30年7月11日
作成者	中村郁恵
代表者承認	責任者承認

項目	環境目標				評価	環境活動計画	
	単位	29年度目標	29年度実績	目標達成状況		実施状況	評価
電力 二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	42,999	49,725	未達成 (86%)	H29年夏季厳しい暑さで温度調節が難しかった。	○	空調機・照明等、必要箇所に限った使用が浸透している。今後も継続していきたい。
	kWh	59,805	71,342				
化石燃料					社有車保有台数増加、遠方の現場が増えた事が原因だと思われます。	○	エコドライブの実施が浸透している。継続して徹底を呼びかけていく。
ガソリン 二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	128,031	156,461	未達成 (82%)			
	ℓ	55,186	67,440				
軽油 二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	11,016	11,918	未達成 (92%)			
	ℓ	4,205	4,549				
化石燃料二酸化炭素排出量合計	Kg-CO <sub>2</sub>	139,047	168,379	未達成 (96%)			
水	Kg	185,793	225,500	未達成 (82%)	従業員及びその他社員増加による事が原因だと思われます。	△	継続的節水を呼びかけていく。
産業廃棄物	Kg	66,362	55,400	達成 (120%)	達成できたことから引き続き取り組みを行う。	○	無駄の見直し、分別徹底を継続していく。
一般廃棄物(紙類)	Kg	13,292	9,600	達成 (138%)	達成できたことから引き続き取り組みを行う。	○	分別の徹底を継続する。

## ※環境活動計画実施状況

○ … 計画通り進められた    △ … ほぼ計画通り進められた    × … 計画通り進められなかった

環境活動計画

作成日	平成30年7月3日
作成者	中村郁恵
代表者承認	責任者承認

項目	取組	内容	主担当
電力削減	事務所内照明及びエアコンの使用範囲管理	電源のON/OFFを要するものについて、いずれも必要な時に必要な箇所のみを使用に限る。	武野
	冷房28℃暖房20℃の温度設定管理の徹底	夏は冷房の設定温度28℃、冬は暖房の設定温度を20℃にし、温度設定管理を徹底する。あわせて表示も設置し、一層の啓蒙を図る。	
	自然光の効率的な利用	ブラインドや窓を適宜開け、自然光を効率的に取り入れることで電力使用を抑制するよう努める。	
化石燃料削減	アイドリングストップ	停車時には必ずエンジンを止める。	近田
	エコドライブの徹底	空ぶかしなどをせず、適切な速度で運転するよう心がける。また、余裕をもった行動をするよう心がける。	
	安全運転、エコドライブ啓蒙資料の提示	余裕を持った行動、安全運転を心がけることで化石燃料使用抑制を促す旨の資料の回覧、掲示をする。	
水道水削減	節水徹底の周知	気づいた時などに節水を呼びかけ合えるよう各々が心がける。	中村
	節水を呼びかける表示の設置	蛇口付近や、ふと目を向ける場所に節水を呼びかける表示を設置することで、常に意識するよう促す。	
廃棄物削減	分別の徹底、リサイクル促進	明確な分別表示及びゴミ箱の設置により、リサイクル促進に努める。	藤田
紙削減	裏紙・両面コピーの利用	社内書類やメモ用紙などには裏紙や両面コピーを大いに活用していく。	山田
	ペーパーレス化への意識	社内PC上のネットワークやメール、スキャナの活用により、ペーパーレス化と紙ベース書類交換による機密情報漏洩防止を図る。	
	使用済み封筒の活用	社内での書類配布等には使用済み封筒を活用するよう呼びかける。	
グリーン購入	再生紙・リサイクル可能製品の優先的購入	リサイクル促進製品の優先的購入と、使用頻度の高いものを3品目選択し、重点的に配慮購入する。	小林
環境活動	社内の緑化	生花など植物を増やして社内の緑化を図ることで、リフレッシュを促し作業効率アップを期待する。	
省エネ	客先への省エネ製品の推奨	空調機は高APF機の推奨、フィルターは自動掃除機能の推奨、便器は節水型の推奨、給湯器はエコキュート・エコジョーズの推奨を積極的に提案する。	営業・設計

## 環境目標

作成日	平成30年7月11日
作成者	中村郁恵
代表者承認	責任者承認

環境目標は以下の表に示す。

短期目標の平成29年度は全ての項目について前年比1%の削減を目指す。

また、中長期目標としては全ての項目で平成30年度で平成27年度比3%の削減を目標とする。

項目	単位	平成29年度	【目標】対平成27年(基準年度)比 毎年1%削減			
		実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
電力 二酸化炭素排出量	Kg-CO2	49,725	43,877	43,438	42,999	42,561
	kWh	71,342	61,025	60,415	59,805	59,194
化石燃料			0	0	0	0
ガソリン 二酸化炭素排出量	Kg-CO2	156,461	130,644	129,338	128,031	126,725
	ℓ	67,440	56,312	55,749	55,186	54,623
軽油 二酸化炭素排出量	Kg-CO2	11,918	11,241	11,129	11,016	10,904
	ℓ	4,549	4,291	4,248	4,205	4,162
化石燃料 二酸化炭素排出量合計	Kg-CO2	168,379	141,885	140,466	139,047	137,628
<b>二酸化炭素排出量 合計</b>	<b>Kg-CO2</b>	<b>218,104</b>	<b>185,762</b>	<b>183,904</b>	<b>182,047</b>	<b>180,189</b>
産業廃棄物	Kg	55,400	67,716	67,039	66,362	65,685
一般廃棄物(紙類)	Kg	9,600	13,563	13,427	13,292	13,156
水	Kg	225,500	189,585	187,689	185,793	183,897

○化学物質使用量は微量の為、現状維持に努める

○グリーン購入について

再生紙・リサイクル可能製品の優先的購入を続ける。

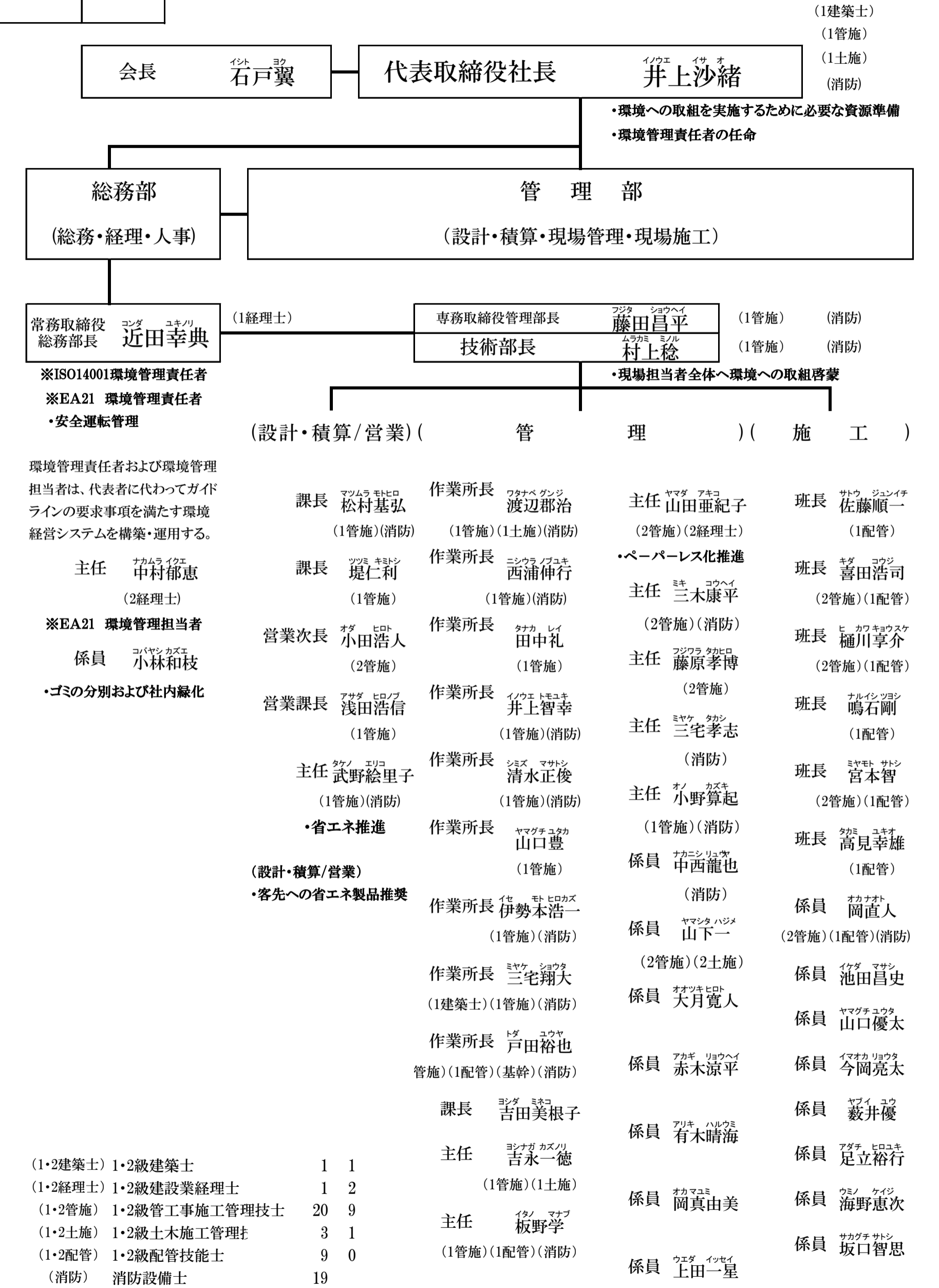
具体的には、使用頻度の高い、1. トイレtpーパー、2. フラットファイル、3. 作業服の3品を重視して購入する。

○自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目

省エネ製品の推奨（詳細は環境活動計画に準ずる）

作成日	平成30年4月11日
作成者	近田幸典
代表者承認	責任者承認

# 山陽技研株式会社 組織表



※ISO14001環境管理責任者  
 ※EA21 環境管理責任者  
 ・安全運転管理  
 環境管理責任者および環境管理  
 担当者は、代表者に代わってガイド  
 ラインの要求事項を満たす環境  
 経営システムを構築・運用する。

主任 **中村郁恵**  
 (2経理士)  
 ※EA21 環境管理担当者  
 係員 **小林和枝**  
 ・ゴミの分別および社内緑化

(1・2建築士)	1・2級建築士	1	1
(1・2経理士)	1・2級建設業経理士	1	2
(1・2管施)	1・2級管工事施工管理技士	20	9
(1・2土施)	1・2級土木施工管理技士	3	1
(1・2配管)	1・2級配管技能士	9	0
(消防)	消防設備士	19	
51名			

51名

環境関連法規等取りまとめ

作成日	平成30年7月2日	
作成者	中村郁恵	
代表者承認	責任者承認	

項目	関連法規等	届出基準	届出要否	締結年月日	対応状況	更新時期	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
廃棄物	廃棄物処理法	全て	委託処理契約	平成21年8月1日	委託処理契約の締結	自動更新	7/16	7/1	7/12	7/1	7/2	
							近田	近田	近田	近田	近田	
マニフェスト	廃棄物処理法	全て			5年間の保存・管理		7/16	7/1	7/12	7/1	7/2	
							近田	近田	近田	近田	近田	
再生品等の調達	グリーン購入法						8/29	7/1	7/12	7/1	7/2	
							近田	近田	近田	近田	近田	
電力	省エネ法						8/29	7/1	7/12	7/1	7/2	
							近田	近田	近田	近田	近田	
施工時	大気汚染防止法						8/29	7/1	7/12	7/1	7/2	
							近田	近田	近田	近田	近田	

# 外部からの苦情等の受付結果

作成日	平成30年7月2日
作成者	中村郁恵
代表者承認	責任者承認

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
苦情等受付状況	なし	なし	なし	なし	なし	

# 環境負荷まとめ

作成日	平成30年7月2日
作成者	中村 郁恵
代表者承認	責任者承認

項目	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		実績	実績	実績	目標	目標	目標
電力 二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	43,748	45,932	49,725	42,561	42,135	41,683
	kWh	60,846	65,060	71,342	59,194	58,602	57,974
化石燃料							
ガソリン 二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	135,293	145,139	156,461	126,725	125,458	124,112
	ℓ	58,316	62,560	67,440	54,623	54,077	53,496
軽油 二酸化炭素排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	6,639	7,472	11,918	10,904	10,795	10,679
	ℓ	2,534	2,852	4,549	4,162	4,120	4,076
化石燃料 二酸化炭素排出量合計	Kg-CO <sub>2</sub>	141,932	152,611	168,379	137,628	136,252	134,791
水	Kg	205,500	240,000	225,500	183,897	182,058	180,106
産業廃棄物	Kg	66,100	45,700	55,400	65,685	65,028	64,330
一般廃棄物(紙類)	Kg	9,400	10,600	9,600	13,156	13,024	12,885



環境負荷(実績)

作成日	平成30年7月11日
作成者	中村郁恵

電気

単位 kWh

年/月	15-7	小計	8-4(新社屋)		小計	合計
29.7	4,823	4,823	164	192	356	5,179
8	6,603	6,603	138	160	298	6,901
9	6,861	6,861	227	189	416	7,277
10	4,728	4,728	131	115	246	4,974
11	4,356	4,356	123	133	256	4,612
12	5,091	5,091	147	149	296	5,387
30.1	6,858	6,858	178	140	318	7,176
2	7,691	7,691	142	155	297	7,988
3	6,449	6,449	156	136	292	6,741
4	5,243	5,243	156	161	317	5,560
5	4,402	4,402	169	139	308	4,710
6	4,521	4,521	167	149	316	4,837
					合計	71,342

年度毎比較 kwh

平成28年度使用量 56,552

平成29年度使用量 71,342 約20%増加

環境負荷(実績)

作成日	平成30年7月11日
作成者	中村郁恵

水道		単位 m <sup>3</sup>		
年/月	15-7	8-4(新社屋)	小計	総合計
29.6	43	5	48	24.0
7				24.0
8	34	5	39	39
9				
10	34	1	35	35
11				
12	34	2	36	36
30.1				
2	30	0	30	30
3				
4	37	2	39	39
5				
6	41	4	45	22.5
7				22.5
合計				225.5

年度毎比較

平成28年度使用量	240.0	m <sup>3</sup>	
平成29年度使用量	225.5	m <sup>3</sup>	約7%減少

環境負荷(実績)

作成日	平成30年7月11日
作成者	中村郁恵

燃料	単位 0		
年/月	ガソリン	軽油	合計
29.7	5,676.24	387.23	6,063.47
8	5,322.32	75.16	5,397.48
9	5,874.44	382.90	6,257.34
10	5,295.08	816.17	6,111.25
11	5,503.18	763.05	6,266.23
12	5,676.28	328.82	6,005.10
30.1	5,308.55	36.00	5,344.55
2	6,887.05	52.60	6,939.65
3	5,923.51	149.48	6,072.99
4	5,561.02	703.23	6,264.25
5	4,574.96	74.15	4,649.11
6	5,837.43	780.46	6,617.89
合計	67,440.06	4,549.25	71,989.31

年度毎比較

	平成28年度	平成29年度	
ガソリン	62,559.79	67,440.06	約7%増加
軽油	2,851.94	4,549.25	約37%増加
	65,4120	71,9890	

環境負荷(実績)

作成日	平成30年7月11日
作成者	中村郁恵

m<sup>3</sup>をtに換算(小数点以下第二位を四捨五入)

産廃		単位 t				
年/月	廃プラスチック類	がれき	金属くず	コンクリートがら	紙	月次合計
29.7	2.5		1.8		0.6	4.9
8	1.4				0.8	2.2
9	1.4		1.8		0.8	4.0
10	0.9		2.3		1.2	4.3
11	2.8	1.5	1.8		0.9	7.0
12	1.4		4.1		1.1	6.6
30.1	2.8		1.8	1.2	0.5	6.3
2	2.7		3.8		0.7	7.2
3	3.0		5.4	1.2	0.8	10.4
4	2.6		1.8		0.9	5.3
5	0.7		1.8		0.7	3.2
6	1.3		1.6		0.6	3.5
項目合計	23.5	1.5	28.0	2.4	9.6	65.0

年度毎比較

平成28年度			平成29年度			
廃プラスチック類	21.0	t	廃プラスチック類	23.5	t	約11%増加
がれき類	5.1	t	がれき類	1.5	t	約96%減少
金属	19.6	t	金属	28.0	t	約30%増加
コンクリートがら	0.0	t	コンクリートがら	2.4	t	約24%増加
紙	10.6	t	紙	9.6	t	約1%減少
合計	56.3	t	合計	65.0	t	

代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

作成日	平成30年7月11日
作成者	近田幸典
代表者承認	

◆環境管理責任者からの報告

項目	指示内容など	
環境方針	追加・変更なし	
環境目標	CO2	追加・変更なし
	廃棄物	
	水	
環境活動計画	追加・変更なし	
環境経営システム等		

◆代表者による評価

項目	指示内容など	
環境方針	特になし	
環境目標	CO2	特になし
	廃棄物	特になし
	水	特になし
環境活動計画	特になし	
環境経営システム等	特になし	
その他	エコ商品の推奨など、時代のニーズに沿った提案を得意先へ行うとともに当社としても環境を考慮した取組を進めていきたい。	

作成日 平成30年7月2日  
作成者 近田 幸典

事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策		承認	
		代表者	責任者
実施日・場所	平成30年3月29日 ・ 新社屋2階 会議室にて		
参加人員	35名		
訓練責任者	近田総務部長		
想定内容	交通事故発生の場合 ・対応マニュアルの確認(各車にて保管)…重要性再確認 ・ケガ人保護及び二次災害回避後、近田部長への連絡を徹底(不在の場合は他役員) ・事故報告書の作成、回覧(再発予防)		
想定結果	・実例も踏まえつつ、万が一を想定した具体的な訓練ができた。		
手順変更の可否	なし		
備考			

作成日 平成30年7月2日  
作成者 近田 幸典

事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策		承認	
		代表者	責任者
実施日・場所	平成30年2月27日 ・ 新社屋2階 会議室にて		
参加人員	50 名		
訓練責任者	近田総務部長		
想定内容	①事務所火災発生の場合 ・初期消火及び消防への通報 ・社内環境管理責任者(近田部長)及び現場責任者(藤田部長)へ連絡 ・鎮火しない場合は非難誘導(ケガ人保護) ・点呼確認		
	②現場火災発生の場合 ・初期消火及び消防への通報 ・社内環境管理責任者(近田部長)及び現場責任者(藤田部長)へ連絡 ・鎮火しない場合は非難誘導(ケガ人保護) ・点呼確認		
想定結果	・実例も踏まえつつ、万が一を想定した具体的な訓練ができた。		
手順変更の可否	なし		
備考			

問題点の是正措置及び予防措置の結果

作成日	2018年7月11日
作成者	近田幸典
代表者承認	責任者承認

今年度、該当なし